

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/  
E-mail:gyoren@kagawa-  
gyoren.or.jp



**JF** 高松市北浜町 8-25  
TEL 087-825-0350  
JF 香川漁連 FAX 087-851-0699

## 赤潮終息宣言を発表

香川県魚類養殖業赤潮対策本部(本部長:服部郁弘県漁連会長)は、9月13日、今後海水温の降下が予想され、養殖魚類に被害を及ぼす有害プランクトンの赤潮発生の可能性が低くなったとして、赤潮終息宣言を発表した。

同本部は、7月17日にシャットネラによる赤潮注意報を発令、7月19日には同種による赤潮警報及びカレニア ミキモトイによる赤潮注意報を発令したが、7月23日には警報を解除し、8月10日には全ての注意報を解除していた。

## のり着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長:森朝征)は、去る8月25日から8月30日にかけて平成19年度のり着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、のり養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、海苔養殖指導指針、酸処理剤の取扱い要領及び乾海苔共販対策等を生産者に直接周知する為、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度は県内3地区で開催し、海苔養殖業者・漁業関係者延べ約200名が出席した。

- 8月25日(土) 小豆島地区
- 8月28日(火) 高松、中・西讃地区
- 8月30日(木) 東讃地区

検討会では、「海苔養殖指導指針」や「酸処理剤の取扱要領について」(事務局)、「水温、栄養塩の動向について」(県水試)等の説明が行われた。今漁期の海苔作りについては、食品の安心・安全性が叫ばれている中で、特に異物混入等衛生対策についてはより一層強化する事が確認された。又、色落ち対策については活発な議論がかわされた。

検討会終了後、小浅商事(株)大阪支店長 水島康氏、(株)大森屋仕入部次長 梶原正洋氏、茨木海苔(株)代表取締役社長 岡本善男氏から「乾海苔消費動向について」、「香川県産乾海苔の評価・改善点につい

て」をテーマにそれぞれ講演があり、出席者全員が熱心に聞き入っていた。又、消費需給動向・共販価格等については、活発な意見交換が行われた。

## 平成19年度漁業技術研修会・漁業士研究会開催

平成19年度漁業技術研修会(海苔養殖部門)(主催:香川県、県漁連、県信漁連、(社)県水産振興協会、県海苔養殖研究会)が、9月14日(金)午後1時から、漁連会館6階大会議室において開催され、県下の海苔養殖業者、漁協職員等約100名が参加した。

当日は、講師に株式会社小善本店代表取締役社長小林善昭氏を招き、「最近の乾海苔の消費動向と香川県産乾海苔の評価と改善点について」と題し講演が行われた。



### 熱心に研修する参加者

昨今の海苔業界を取り巻く状況は厳しく、商社は相当量の在庫を抱えており海苔の単価上昇が望めないこと、そのためにコストを削減して徹底した安全、安心な良質の海苔を作るか、が求められている等の情報が提供された。

また、本会共販事業部共販課 棚野弘幹氏から、「平成18年度内海地区施肥試験結果について」と題し、報告が行われた。

研修会終了後、午後3時から漁業士研究会が小林氏他の出席のもと開催され、漁業技術研修会で説明のあった乾海苔の消費動向等について、かなり熱心に質問や意見が出された。

## 漁協役員研修会を開催

平成19年度の「漁協役員研修会」が9月19日に県漁連会館において開催された。当研修会はコンプライアンス態勢の確立及び経営健全化を目的に、香川県、県漁連、信漁連、共水連県事務所、県漁協職員協の共催により開催され、県下漁協役員等約100名が参加した。

研修に先立ち、主催者を代表して本会竹沢専務が挨拶を述べ研修に入った。

始めに全国漁業協同組合連合会JF強化本部 信用・合併推進部部長 合田功氏より、「理事の責任と役割について」と題して講演が行われた。この中で、理事の権限と責任では、理事会の出席権、業務執行権、職務執行監督権、理事会招集権がある一方で、善管注意義務、忠実義務等があり、コンプライアンス態勢を確立した組合運営を行わなければならないこと。また、JFの経営改善に向けた取組みでは、「事業・経営改革の視点によるJF合併の推進」、「事業の集約化・重点化」、「経営不振JF(要改善JF)の経営改善」の実現について、平成19年6月の全漁連通常総会で特別決議がなされていること。これを受けて、経営基盤強化に向け合併を行い、さらに組織の再構築(事業の効率化、事業改革、コスト削減・スリム化)を図り組合員の期待に応えうる強固な経営基盤を構築する必要があること。経営不振JFに対しては、県・系統団体が中心となってJFの経営指導を強化しなければならないが、JFの理事として経営責任を果たすため、リーダーシップを発揮してこの難局を打開しなければならないと説明があった。

続いて、香川県農政水産部水産課 川西副主幹より、「水協法改正の概要」の説明。同水産課 小林主任及び県漁連指導部指導課 八木副調査役から「組合運営における留意事項について」、「減価償却費の計算方法変更について」のそれぞれ説明があった。

この研修会で得られた知識を今後の組合運営に生かし、より適切な組合運営を期待します。

### 主な行事予定(10/1~10/31)

10月 9日(火) ワーサン100第3回実行委員会  
24日(水) 職員研修会  
29日(月) //

## 10月は仕事と家庭を考える月間です

少子・高齢化が進行している現状の中で、働く女性が安心して妊娠・出産をし、男女ともに働きながら子どもを育てられる労働環境を整備していくことがますます重要となっています。

働くこと、また、企業の成長等は重要なことですが、家族のための時間が少ないってなんだかおかしくないですか?経営者の方も、管理者の方も、労働者の方も、考えてみませんか。仕事と家庭の両立、そしてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を。

これらに関するお問い合わせ等は

香川労働局雇用均等室

TEL 087-811-8924 FAX 087-811-8935  
〒760-0019 高松市サポ-ト 高松サポ-ト合同庁舎3階

## 学生募集

平成20年度 第69期

## 全国漁業協同組合学校

JF(漁協)を担う若きリーダーを育む

修業年限 1年・全寮制 定員50人(男女共学)

願書受付 第1回

平成19年10月1日~平成19年11月9日

入学選考 第1回

平成19年11月22日

各都道府県漁連・県漁協

連絡先 全国漁業協同組合学校

〒277-0854 千葉県柏市豊町1-4-5

TEL: 04-7144-8125

FAX: 04-7145-5003

<http://www.jf-net.ne.jp/kumiaigakkou/>  
入学願書ご希望の方は本校に連絡ください